

AIGID



一般社団法人 社会基盤情報流通推進協議会

データの力を社会の力に。

実空間における様々な国土情報・公共施設等の社会インフラデータは、提供条件や更新頻度・権利等が様々であり、利便性向上が求められています。ユーザである民間企業や大学等がオープンな形で参加できることや情報提供側の負担軽減を望む声も大きなものとなっています。これらを鑑みると、技術と制度の整備、流通阻害となる要因を解決するための情報通信技術を活用した持続可能な実運用の枠組みの構築が必要です。

2011年、産官学が連携し、社会インフラに関わる情報の流通環境の整備を目的とする「社会基盤情報流通推進協議会」を設置しました。持続可能な社会基盤情報の流通環境整備をより強力に推し進めるべく、2014年から一般社団法人社会基盤情報流通推進協議会(AIGID)として活動をリ・スタートしました。

趣旨に賛同いただける方のご参加をお待ちしております。



代表理事
関本 義秀

私たちのミッション

産官学の連携を通じて、社会インフラに関連する情報の
収集、配信、そして利活用のための最適な流通環境を整備する。

■理事(50音順)

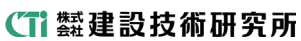
国際航業株式会社 新井 邦彦
株式会社 長大 菊地 英一

PwCコンサルティング合同会社 井上 陽介
アジア航測株式会社 黒川 史子

株式会社パスコ 岩崎 秀司
駒澤大学 瀬戸 寿一

朝日航洋株式会社 大伴 真吾
株式会社建設技術研究所 藤津 克彦

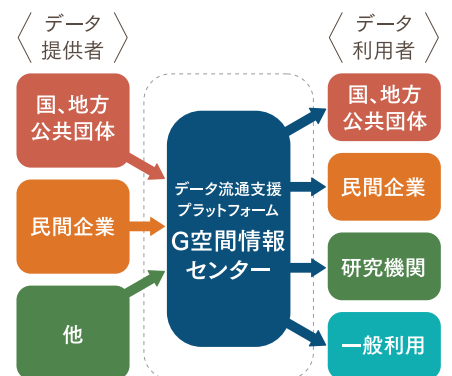
■幹事会員



社会基盤情報のデータハブ「G空間情報センター」

産官学が持つ地理空間情報(G空間情報)を集約し、その有効活用と流通を促進する目的で設立された機関です。一般社団法人社会基盤情報流通推進協議会(AIGID)が運用しています。販売や無償を問わず、社会基盤情報をワンストップで検索・入手する機能を提供しており、地理空間情報の社会的価値を最大化するためのデータ流通支援プラットフォームです。イベント出展、プロモーション活動、セミナー開催なども行っています。さらに、研究開発やデータキュレーションといったイノベーション創出に向けた事業も展開しています。

ホームページはこちらから



スマートシティの先のデジタルツインへ

「デジタルシティサービス」

自治体を基本単位とした各地域の行政データや3D都市モデルなどの様々なデータをG空間情報センター上で、保管、管理、可視化(3次元も含む)やAPI提供などを行うサービスです。

ホームページはこちらから



公共データを活用して

地域課題の解決を目指す「アーバンデータチャレンジ」



URBAN DATA
CHALLENGE

アーバンデータチャレンジ(UDC)は、地域課題解決を目的とし、地方自治体を軸にした公共データの活用を促進するイニシアティブです。2013年から手がけており、データを活用したコミュニティづくりと広く一般参加を募る作品コンテストの二つの要素で構成されています。データ活用型コミュニティづくりは、2014年からの5年間で各都道府県から「地域拠点」を指定し、地理空間情報の利用と流通を促進する活動を展開しており、コンテストでは、毎年広範な公募を通じて、地域問題解決に貢献する優れた作品を表彰する活動を続けています。



ホームページはこちらから

地方自治体のDXとイノベーションを支える「My City シリーズ」

My City Construction (オンライン型電子納品システム)

2020年度から運用開始したオンライン型電子納品システムです。このシステムは初期費用が不要で、自治体でも簡単導入可能。効率的な納品と成果品の利活用を目的に設計されています。受注者は検査前に電子納品成果を簡単にアップロードできます。大容量の点群データやドローンデータでも、プレビュー表示とデータ検索が円滑に行えます。さらに、公開データは一般ユーザーにも検索が可能です。

My City Report (MCR) (自治体向け)

MCR for citizens 市民協働投稿サービス

市民と自治体と一緒に地域課題を解決するためのスマートフォンアプリです。このアプリを使用して、市民は街で見つけた“こまった”を簡単に投稿できます。その情報は、自治体や他のアプリユーザーと共有され、協働的な解決が促進されます。

MCR for road managers AIによる道路損傷検出サービス

道路管理の効率化と精度向上を目指すAI(人工知能)を活用したシステムです。従来、多くの自治体で車上からの目視による道路損傷確認が行われていましたが、このシステムにより、正確かつ迅速に道路損傷の個所を検出することが可能となり、業務効率が大幅に向上します。

My City Forecast

都市計画の策定を高度化するためのシミュレーションツールです。現状の人口や施設配置データを用いて、2015年から2040年までの都市環境の変化を14の指標で可視化します。特に、人口減少が進む日本の地方自治体にとって、効率的かつ実効性のある都市計画を策定に貢献します。さらに、市民の視点を反映したデータ解析により、将来的な生活環境の改善と地域コミュニティの持続可能性を高めます。



My City Report アプリのマップ画面

本画面は一部、運用とは異なる部分があります。

AIGIDの活動にご参加いただける方々を募集しています。

本協議会には幹事会員(年会費:60万円)、一般会員(年会費:1万~30万円)、および賛助会員(年会費なし)の三種類の会員があります。入会案内の詳細については、ホームページをご覧ください。



一般社団法人 社会基盤情報流通推進協議会

(一般社団法人 社会基盤情報流通推進協議会 事務局)

〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-10-5-304 ☎office@aigid.jp ☎03-6455-1845 ☎03-6455-1846

詳細は
ホームページを
ご覧ください。
<https://aigid.jp>

